

令和7年度各施設等における検査分析結果について

＜ダイオキシン類分析結果＞

①日南市クリーンセンター（隈谷）

（数値については美化推進課より提供）

採取日	検査機関	採取場所	排出ガス (ng-TEQ/m ³ N)	焼却灰 (ng-TEQ/g)	飛灰 (ng-TEQ/g)
			排出基準 5以下	排出基準 3以下	※
5月21日	株式会社静環検査センター	1号炉	0.074	0.0088	0.36
7月9日		2号炉	0.33	0.026	0.57
11月19日		2号炉	0.042	0.016	1.2
1月21日		1号炉	0.1	0.015	0.46

※ 「飛灰」の基準については、セメント固化、薬剤処理を行っているものについては適用しない。（H15.3.3環境省令第2号）

②黒潮環境センター

採取日	検査機関	採取場所	大気検査 (pg-TEQ/m ³) 環境基準 0.6以下
9月9日 ～10日	公益財団法人 宮崎県環境 科学協会	黒潮環境センター 敷地内	0.00076
		榎原中学校 敷地内	0.0011

（参考：環境用語の解説）

※「ダイオキシン類」とは

廃棄物の焼却等の過程で非意図的に生成される物質で、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシンとポリ塩化ジベンゾフランを加えた210種の有機塩素化合物を総称して「ダイオキシン類」という。分解しにくい物質のため、環境中に微量であるが広く存在し、生物の体内に蓄積しやすく、発がん性、催奇形性、免疫機能の低下などの毒性を有するといわれている。

※「TEQ」（ティー・イー・キュー）とは

最も毒性の強い「2,3,7,8-テトラクロロジベンゾパラジオキシン」の毒性を1として他のダイオキシン類の仲間の毒性を強さを換算した係数を用い、ダイオキシン類の毒性を足し合わせた値であることを示す。

● 微量物質の重さを測る単位

ng（ナノグラム）＝10⁻⁹ g（10億分の1グラム）

pg（ピコグラム）＝10⁻¹² g（1兆分の1グラム）

（例）砂粒の千分の1グラムが1 ng です。

また、東京ドームに相当する体積の入れ物を水でいっぱいにした場合の重さが約10¹² g（1兆グラム）となります。このため、東京ドームに相当する入れ物に水を満たして角砂糖1個（1 g）を溶かした場合を想定すると、その水1 ccにふくまれている砂糖が1 pg（ピコグラム）になります。